



観音寺市議会だより
KAN-ONJI CITY COUNCIL No.14 2017.8.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします



表紙：第51回銭形まつり 撮影者：塩田将雄

6月定例会のあらまし	2
一般質問	4
各常任委員会視察報告	9



検索

観音寺市議会

総務委員会報告

一般会計補正予算・航路事業特別会計補正予算・政策部関係2議案・総務部関係3議案を審査

- 議案第41号 専決処分の承認について
(観音寺市税条例の一部を改正する条例)
- 議案第42号 専決処分の承認について
(観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例)
- 議案第43号 専決処分の承認について
(観音寺市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

以上3議案は、税条例の一部改正における専決処分の承認を求めるもので、全会一致で承認すべきものと決定した。

- 議案第44号 観音寺市附属機関設置条例の一部改正について
観音寺市交流定住促進会議を廃止するもの
- 議案第45号 観音寺市職員の退職手当に関する条例の一部改正について
雇用保険法の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの

以上2議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

- 議案第48号 平成29年度観音寺市一般会計補正予算(第1号)

定例会が5日から23日までの19日間の会期で開かれた。一般質問は、12日に個人(7人)、13日に個人(6人)が市政について質した。
議案については、専決処分の承認関係3件、条例関係3件、一般会計補正予算・特別会計補正予算、その他1件を各常任委員会に付託し、審査した。
最終日には、各委員会付託議案を原案のとおり、承認および可決した。また、議提議案1件を提案し、可決した。

一般会計補正予算の概要

2,234万5千円増(補正後255億7,234万5千円)

主な歳入

国庫支出金	△417万円
財産収入	473万円
繰入金	1,000万円
諸収入	1,178万円

主な歳出

地域コミュニティ助成事業	640万円
避難行動要支援者台帳管理システム導入費	210万円
有木宮農飲雑用水施設修繕料	130万円
地域防災推進事業	200万円
戦争体験記刊行事業	111万円
予備費	289万円

- 議案第49号 平成29年度観音寺市航路事業特別会計補正予算(第1号)
新船建造事業計画の変更に伴い、予算を修正するもの

航路事業特別会計補正予算の概要

1億4,858万2千円減(補正後1億4,441万8千円)

主な歳入

国庫支出金	△3,341万円
繰入金	△1,844万円
市債	△9,680万円

主な歳出

船舶等維持管理費	△186万円
新船建造事業	△1億5,146万円
事業債利子	△64万円
予備費	531万円

以上2議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設経済委員会報告

一般会計補正予算(第1号)関係部分と建設部関係1議案を審査

- 議案第47号 市道路線の認定及び変更について
全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教民生委員会報告

一般会計補正予算(第1号)関係部分と教育委員会関係1議案を審査

- 議案第46号 観音寺市公園条例の一部改正について
市総合運動公園内の設備使用料などの規定を整備するもの
全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

議提議案第1号地方自治法第180条第1項に基づく観音寺市長専決処分事項の一部改正について
観音寺市特別会計条例の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの
全会一致で原案のとおり可決された。



詫問 茂

生産年齢人口減少対策は

答 井
移住支援や企業誘致、子育て支援策の拡充などに

取り組む

【質問】 日本の15歳から64歳の生産年齢人口は、1997年の8,699万人をピークに減り続け、2017年2月は7,620万人だった。20年間で約1,000万人、年平均でおよそ50万人という先進国では例を見ないペースで減っており、働き手の補充が追い付かない状況で戦後最低となっている。

本市の生産年齢人口はどのようにになっているのか、また、どのように対処しているのか伺う。

【答 井】 本市の生産年齢人口は、1995年が4万2,566人、2015年が3万2,838人。この20年間で、9,728人減少している。

生産年齢人口の減少は、労働力不足につながり、経済、産業活動の縮小による市税などの収入の減少や「まち」の活力低下を招くこととなる。本市としては、移住支援や企業誘致、子育て支援策の拡充など、社会減および自然減を改善するための施策を積極的に行うことで、生産年齢人口を維持確保することが重要であると考えている。

本市では、若者のU・I・Jターンの促進に向け、働く場の確保を図るために企業誘致や創業支援に取り組んでいる。また、結婚新生活支援や同時通園通所児童の幼稚園給食費無料化に取り組んでいる。



大矢一夫

観音寺市の教育施策は

答 井
本市教育の基本理念の実現を目指して各種施策を推進

策を推進

【質問】 これからの観音寺の教育についてどのように考えているのか。

【答 井】 「まちづくりは、ひとづくりである」との基本に立ち、次代を担う子どもたちの育成のために、命を尊び、たくましく生きる強い心と体を育てる教育、生きがいを持ち生涯にわたり学ぶ意欲を高める教育、自然や文化に親しみ、ふるさとを愛する心を育てる教育に邁進したい。

国が提唱する学校運営協議会制度、いわゆるコミュニティスクールの構想も視野に入れた取り組みを検討する。連携・協働・変革をキーワードに、確かな学力を身に付け、心豊かでたくましい子どもたちの育成をめざして、学校の指導に努めたい。

観音寺市総合運動公園の整備は

答 井
総合体育館アリーナ天井の耐震化や照明のLED化などを行う

【質問】 屋外トイレ整備や施設管理体制について伺う。

【答 井】 屋外トイレの建て替えでは、便器数を増やし、多目的トイレを新たに整備。今年度末に竣工予定。総合運動公園と総合体育館の事務所を統合し、受付業務や監視カメラの管理などを一か所で行えるように計画している。



石山秀和

観光PR戦略について質す

答 井
のりあいバスの観光ラッピングは今後検討する

【質問】 観光基本計画策定の進捗状況を伺う。

【答 井】 現在、策定委員会を設置し、若い世代を中心に作業部会を設け素案作りを進めており、本年度中の策定を目指している。のりあいバスのラッピングによる観光PRは、動く広告媒体としての宣伝効果が期待できると考える。今後、調査・検討する。

企業誘致について質す

答 井
県の港湾環境整備事業での埋め立て造成地と市独自の用地確保の方策を検討する

【質問】 企業誘致計画について伺う。

【答 井】 県が進めている観音寺港の埋立地は、面積が21.1ヘクタール、内分譲見込み面積14.5ヘクタールで平成14年度より始まり、約8割程度完了。部分供用も可能である。県と協議し、企業への情報提供を行っている。また、企業用地の確保に適した箇所の調査を行うとともに県の企業立地用地確保事業の申請を行い、検討する。

農業の競争力強化について質す

答 井
平成29年度において、飼料用米の作付面積拡大と野菜や花きの17品目の生産拡大を推進する

【質問】 農家所得向上対策は。

【答 井】 各種補助事業を活用した機械化や施設整備を推進し、圃場整備や農地集積を進め経営の基盤強化を促進する。また、「農家民泊」は修学旅行やインバウンド客など観光の側面もあり、今後検討する。



大平直昭

移住の状況は

答 弁 3年間で168人

【質問】 移住促進のための取り組みを、年を追うごとに充実させてきているが、移住の状況は。また、引き続き積極的な取り組みが必要と考えるが、これからの取り組みは。

【答 弁】 転入者に対してのアンケートを実施した平成26年度から平成28年度の3年間で、89世帯168人が移住してきた。引き続きこれまでの取り組みを継続し、さらに本市の魅力を広く発信していく。

アライグマなどの対策は

答 弁 捕獲箱を設置する

【質問】 特定外来生物であるアライグマ、ヌートリアの対策はどうしているのか。

【答 弁】 ホームページで注意喚起を行い、目撃情報があった場合は、捕獲箱を設置するなど、効果的な捕獲に努めていく。



篠原和代

保育所・保育園の受入状況は

答 弁 年々増加傾向で、受入が非常に厳しい

【質問】 待機児童問題は、保育所、保育園だけの問題ではなく、幼稚園との連携も必要不可欠と考える。観音寺幼稚園、観音寺中央幼稚園での預かり保育の実施など、教育委員会の考えについて伺う。

【答 弁】 待機児童問題に関しては、それぞれの役割分担を踏まえながら、市長部局との連携のもと、検討すべき課題だと考えている。

小学校の外国語授業はどう変わるのか

答 弁 高学年は年間70時間の教科外国語、中学年は年間35時間の外国語活動を実施に

【質問】 学習指導要領の改訂案を受けて、今後の対応について伺う。

【答 弁】 平成32年度から実施される学習指導要領の先行実施を検討。本年度は、小学校外国語教育研究推進モデル地域事業として、一ノ谷小学校、豊田小学校が県の指定を受け、高学年において、年間70時間分の授業案を実施し、県内のモデル校として実践を積み重ねている。



篠原重寿

児童虐待の件数増加への対応充実を

答 弁 学校、県などと連携し、早期対応、再発防止を進める

【質問】 虐待相談は、最近3年連続過去最多となっている。大幅な件数増加で、現場での対応が十分でないのでは。市の福祉部門、県児童相談所との連携強化が必要ではないか。

【答 弁】 市への相談件数は、159件（平成28年度で、新たな相談は、過去に対応したケースも含めて77件である。今後、関係機関との連携強化や啓発活動で対応する。

子どもの生活習慣の改善策は

答 弁 検診結果に基づき、本市児童の健康増進を図る

【質問】 香川県は、糖尿病の罹患者が多く、子どもの頃から「生活習慣の改善」が取り組まれている。「小児生活習慣病予防検診」の結果をどのように活かしていくのか。

【答 弁】 市内小学4年生への検診結果で、肥満の割合は県平均より高い数値が出ている。検診後のフォロー体制として、対象児童の保護者へ、結果の通知と健康相談会などを通して、生活習慣や食生活の改善などについて、指導・助言している。子どもの健康は、大人の生活習慣病に影響されることから、教育委員会としては、市長部局との連携をさらに強化し、児童の健康増進に努める。



井上 浩司

結婚支援事業の積極的な展開を

答 井 婚活支援事業の補助・婚活イベントの補助や開催

〔質問〕 少子高齢・人口減少時代になって、各自治体においても様々な施策を展開している。結婚支援事業を行政課題の高位に位置づけ、庁舎内に専任の部署を創設するなど積極的な施策展開が必要と考えるが、市の取り組みについて伺う。

〔答 井〕 「クリスマスの集い」や伴走型婚活支援事業「ちかこん」および婚活イベント「はるこい」に対して補助をしている。

また、愛媛県四国中央市と徳島県三好市、本市の3市で構成する『四国まんなか交流協議会』の主催による婚活イベント「四国まんなかde愛イベント」を開催している。

本年度から経済的な理由で結婚に踏み切れないカップルのために、家賃や引越費用などの結婚新生活に係る費用への補助を開始し、経済的な支援に努めている。

〔質問〕 ある企業では、独身者の方が非常に多く、企業同士の結婚あっせん事業やイベント、またそれをマッチングする結婚相談支援事業を要望する声があるが。

〔答 井〕 企業および団体におかれては、「かがわ縁結び支援センター」の協力団体に登録をいただき、企業内の独身男女に縁結びイベントの情報提供など結婚に向けた支援に取り組んでいただけたらと考えている。



伊丹 準二

高齢者介護用の短期・簡易の施設整備は

答 井 デイサービス・ショートステイを有効に利用していただきたい

〔質問〕 子育て支援の施設整備は順調に推移しているが、介護施設の不足が懸念される。本市には短期・簡易の施設整備が必要なのではないか。

〔答 井〕 市内には、デイサービス対応事業所が29事業所、短期入所対応施設が12施設ある。利用していただきたい。



下水道加入への働きかけは

答 井 状況に応じ、対応していきたい

〔質問〕 市内下水道加入率は100%が当然と思うが、未加入の家庭への働きかけと対応は。

〔答 井〕 高齢世帯・低所得や既設浄化槽による水洗化などの事情で加入に至らない家庭がある。

道路整備の進捗は

答 井 個々の状況をみながら対応していく

〔質問〕 内環状線は順調に整備されている。長年、未整備の道路が点在するが、今後の整備予定を伺う。

〔答 井〕 用地境界が確定しない、相続ができていない。所有者の理解が得られないなど、休止理由がある。



安藤 忠明

戦争体験記の進捗は

答 井 77名の方から聞き取りして編集作業中

〔質問〕 先の戦争による体験記の内容と体験談の募集状況は。

〔答 井〕 戦後70年が経過し、太平洋戦争の記憶も薄れかけてきている今、市教育委員会では、実際に戦地に赴いた人たちの戦時下の暮らしを聞き取り、一度と起こしてはならない悲惨な戦争の記録を残して未来への伝言とするために、戦争体験記の作成を進めている。この体験記は、概説編・証言編・戦争遺跡編・総括編の4部編成となっている。現在、77名の方々から戦争体験を聞き取り、執筆および編集作業をしているところである。今後は、年度内の発刊に向けて編集部会を中心として、最終段階の作業に取り組んでいく。

国道の4車線化工事は

答 井 本市側は今年度から用地の先行取得を予定している

〔質問〕 国道の拡幅工事は10年目を迎えるが、進捗しているのか。

〔答 井〕 三豊市側は、用地の確保も進み、昨年度から一部の工事が進んでいる。本市については、財田川から吉岡歩道橋までの区間において、今年度から用地国債制度により、観音寺市土地開発公社での用地の先行取得を予定している。



友枝 俊陽

四国新幹線整備に向け た機運醸成を

【質問】 ①本市は立地面では四国の真ん中に位置する。県庁所在地だけではなく、四国の真ん中から積極的な機運醸成が必要ではないか。②街の顔ともなる駅舎が必要ではないか。JRと行政が連携協力し、将来を見据えた計画なども必要。ハイスタッフホールが完成し、駅舎を中心に中心市街地の賑わいに繋がるコンセプトが必要。現駅舎も安全対策や利用者にとって利便性のよい環境整備が必要である。

答 弁

新幹線導入に関する理解 の促進と機運の醸成を図 りたい

【答弁】 ①香川県JR四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会において、定期的な勉強会やシンポジウムの開催、4県連携での国への要望活動を行っている。本市では、市役所にて「四国の新幹線パネル展」を開催し、機運の醸成に努めている。②本市が進める街づくりの中で、「都市計画マスタープラン」における都市機能が集積する「地域拠点」の中心施設として不可欠なもので、ハイスタッフホールの開館、高等学校の統合などで利用者の増加により、一層重要性が高くなっている。現駅舎は平成32年度までに段差解消などのバリアフリー化の整備が努力義務とされており、現在「四国運輸局」などと協議を重ね、事業主体となるJRに整備案の調査をお願いしている。



豊浦 孝幸

小中学校の学力向上と 将来への教育対応は

自己達成感を向上させ、 学習意欲の向上につなぐ 取り組みを進める

【質問】 市内中学校の県内における平均学力についての認識を伺う。

答 弁

【答弁】 県の学習状況調査結果の平均点などから考察すると平成25年度から毎年改善傾向にあったが、平成28年度は国語以外の教科において課題が見られた。原因のひとつには設問に粘り強く挑戦せず、無回答のまま提出する生徒の割合が例年に比べ高く、そのことが平均点の低下に影響していると考えられる。このような課題を踏まえて、基礎学力の確実な定着と、やればできるという自己達成感を向上させ、学習意欲の向上につなぐ取り組みを進めている。また、市教育センターでは、中学校区ごとに教育開発研究委員会を組織し、小・中学校の教員が同一テーマで実践研究を積み上げ、学力向上をめざす取り組みを推進している。

【質問】 小学校におけるプログラミング教育への対応を伺う。

答 弁

【答弁】 昨年度末、全小中学校の校務用および生徒用コンピュータをすべて入れ替え、新しい学習指導要領実施に向けての準備を計画的かつ着実に進めている。今後は、非常勤講師などの活用も視野に入れ、指導体制の充実を図るとともに具体的な指導・助言を行っていく。



藤田 均

就学援助の入学準備金 は、小学校も入学前に支 給できないのか

入学前の在籍確認が難し いが、先行市町の動向を 見ながら検討する

答 弁

【質問】 文科省は昨年通知を出し、本市は入学準備金を2倍に、援助対象も拡大。支給は中学入学前に改善した。小学校は入学後支給。

文科省は今年3月に「小学校も入学前に支給を早める事ができる」新しい通知を出した。本市の「通知」の受け止めや、現状は。

【答弁】 平成30年度入学者から県内5市町が中学校入学前の支給を決定しており、その内2市町が小学校入学前支給に向けて準備している。

本市の平成28年度支給実績は、小学校で45世帯、中学校で71世帯。小学校入学前の支給は今後検討していく。

交通事故の多い交差点は、市独自の 対策が必要では

答 弁

地元からの要望書の提出が原 則で、随時受け付けている

【質問】 栗井町にある県道栗井観音寺線と南部農道の交差点は、警察に聞くと、この10年間に毎年1回は、車が田圃に落ちる事故が発生している。市は安全対策未対応の交差点をどうするのか。

【答弁】 市内の交通事故の発生場所・件数は、年4回警察から情報提供を受けている。安全対策については、自治会や学校関係からの要望書の提出を受けて、協議をしながら進める。





五味 伸亮

運動公園野球場にナイター照明を提案

答 弁

将来の課題として研究

〔質問〕 総合運動公園野球場のナイター設備の整備要望がよく聞かれる。野球人口は多く、社会人、高校生、大学生など、広く利用されているが、ナイター照明施設が無いため、十分に使用されていない現状にある。優先順位を持ち、計画的に整備・改修を行っているが、人口と利用者の減少が予測される中、市有公共施設の在り方や運営なども改めて考えていかなければならない。ナイター整備に併せたナイターリーグの創設や、過ごしやすい時間帯の利用、合宿の誘致による多大な経済効果、高校生がナイター設備を利用した練習と経験を積む施設として期待される。野球場のナイター照明整備を提案するが、市の考えを伺う。

〔答弁〕 野球場建設当時の財源確保や近隣住民の意向もあり、整備していない。総合運動公園の施設整備については、来年度以降、防球ネットや外野フェンスの改修など、緊急性や財政状況を総合的に勘案し、計画的に進めていく。提案の野球場ナイター設備については、将来の課題として、研究させていただきます。



掲載できなかった一般質問

氏 名	質 問 件 名
詫間 茂	● 公共施設でのマナーについて ● サルコペニア（筋肉減弱症）について ● 終活について ● 市の財政力について
石山 秀和	● 観音寺ブランド認証制度について ● 食のガイドブック作成について ● 空家対策について ● 地域包括ケアシステム構築の環境整備について ● 市民からの相談受付体制について
篠原 重寿	● 働きやすい職場づくりについて
井上 浩司	● のりあいバスについて

氏 名	質 問 件 名
安藤 忠明	● 観音寺市総合振興計画について ● 危機管理について ● 産業の振興について ● 鹿隅橋の改修について
友枝 俊陽	● 災害時のボランティア等の受動体制について
藤田 均	● 生活困窮者への学習支援について ● 介護保険の負担と認定結果について ● 公共施設等総合管理計画について ● 住宅リフォーム助成制度について ● 水道事業の全県一元化について
五味 伸亮	● 緊急避難場所の導線整備について ● 一般廃棄物の福祉収集について ● 観光振興と中心市街地活性化について

行政視察の報告

総務委員会視察報告

日程 5月10日～5月12日

場所・事項

福岡県宗像市 ●運転免許証自主返納支援事業

高齢者の自動車運転が原因となる交通事故を抑制するため、免許証の自主返納を促進する事業。支援は、バス回数券の支給など交通手段の補助をするもの。高齢者が原因となる交通事故が減少している。

福岡県久留米市 ●婚活支援事業

人口減少に歯止めをかけるため、結婚したい人の希望がかなえられるよう、情報提供や出会いを応援する仕組みづくりなどを総合的に支援する。

企業・団体婚活支援ネットワーク推進事業では、参加者から市主催事業による安心感など、高い満足度を得ている。



▲大牟田市

福岡県大牟田市 ●一般廃棄物等福祉収集事業

公助が必要な高齢者、障害者を対象にごみの排出支援を行う。ごみの排出が困難な高齢者や障害者にとっては負担となることがあるため、福祉的視点でのごみ収集が求められ、事業開始となった。

福岡県福津市 ●空き家対策事業

高齢者が多い地区では、空き家が増加していた。沿岸部は、密集と塩害により、老朽危険空き家が多数あった。空き家データベースの整備、所有者の一斉調査により、苦情対応が非常に早くなった。空き家の売却を促進することで、人口増加の一助、まちの再生につながっている。

建設経済委員会視察報告

日程 5月9日～5月11日

場所・事項

愛知県瀬戸市 ●瀬戸地域アグリカルチャーネットワーク推進事業について

道の駅を設置するための協議会を立ち上げ、5つの基本戦略を持つ瀬戸地域アグリカルチャーネットワーク構想を策定。豊かさの新しい地域モデルを目指し、地域発の新たな都市近郊型農業政策を実施する。

長野県飯田市

観光ビジョンについて、2つの事業体の取り組みを研修した。

飯田まちづくりカンパニー

- TMO(中心市街地における商業まちづくりをマネジメントする機構)について

南信州観光公社

- 飯田市における着地型観光ツーリズムについて



▲南信州観光公社

滋賀県長浜市 ●黒壁を中心とした市街地活性化について

「自分たちが住んでいるまち全体を博物館に見立て、美しいまちに美しく住んでいく」という博物館都市構想を策定。市・商工会議所・商店街とながはま21市民会議、株式会社黒壁(第3セクター)による3つの流れのまちづくりを展開している。市民参加意識の変革・雇用の創出・交流人口の増加・空き店舗の解消・まちなみ景観の再生・新たな文化の創出などの効果がみられる。

文教民生委員会視察報告

日程 5月8日～5月10日

場所・事項

兵庫県赤穂市 ●赤穂市文化会館 ハーモニーホールについて

誰でも気軽に参加し、質の高い芸術文化活動の「場や機会の提供」を行うことの出来る施設を建設し、市民ならびに圏域住民の心のふれあいと自己実現を図ることを目的とした。

茨城県水戸市 ●子育て支援・多世代交流センターについて

地域における子育て支援と多世代交流拠点として、「わんぱく・みと」・「はみんぐぱーく・みと」を設置。民間委託の「地域子育て支援拠点事業」や「子育て広場」などとの連携の役割も担う。



▲水戸市 はみんぐぱーく・みと

茨城県石岡市 ●生涯現役プラチナ応援事業について

65歳以上の高齢者が、地域貢献活動や生きがいづくり活動に参加することで、生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと活躍できる生涯現役社会の実現を目的とする事業。

シルバーリハビリ体操教室など参加者は年々増加し、介護予防に繋がると期待している。

東京都足立区 ●子どもの貧困対策について

国の子どもの貧困対策に伴い、「子どもの貧困対策本部」、「子どもの貧困対策担当部」を設置する。学識経験者を招へいた検討会議を開催するなど、実施計画策定に向けて、子どもの貧困対策の基本理念、方針、指標などについて様々な視点から検討・研究を進めている。

広聴広報委員会視察報告

日程 5月18日～5月19日

場所・事項

広島県三次市 ●議会だよりについて

議会だよりは、年に4回の定例会と報告会の案内を含めて5回、発行している。特色があるのは、質問者の顔写真を事務局が紙面の内側を向いているように、議場において撮っていることであった。

●議会報告・懇談会について

全議員を4つの班に分けて、21会場で開催している。昼間の開催も2会場で行い、高校生との意見交換会も予定している。参加者も発言者も固定化する傾向にあり、女性や若者の参加が少ない。

広島県東広島市 ●議会だよりについて

市民参加型の議会広報活動に取り組んでおり、議会だよりの冒頭に特集や市民のこえと題して、市民代表の座談会を載せ、時の話題を提供している。

●議会報告・懇談会について

各常任委員会でテーマを設定し、議会でどのような取り組みが行われてきたかを報告している。このことによって、市議会に理解や親しみをもってもらうためのきっかけ作りとなった。



▲東広島市

議会運営委員会視察報告

日程 4月19日～4月20日

場所・事項

愛知県犬山市

●議会改革について

議会改革を進めるにあたり、推進していきたい有志により、できることから取り入れている。政務活動費と議長交際費の公表やユーストリームにより各種会議を生中継している。議長と議会選出監査委員の任期を1年から2年に延長し、議長は常任委員会に属さないこととした。市民との意見交換の場として、講演や常任委員会ごとの分科会を開催。また、オープン議長室を設置した。



▲四日市市

三重県四日市市

●議会改革について

全議員による議員政策研究会の開催や議会活性化検討会を設置している。委員会をユーストリームで公開するとともに、シティ・ミーティングの開催などにより、議会の透明化を図っている。議員提案案件が増えたため、議会事務局職員を増やし、体制整備を図った。

議案の審議結果 平成29年第3回(6月)定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第 41 号	専決処分の承認について(観音寺市税条例の一部を改正する条例)	承 認
議案第 42 号	専決処分の承認について(観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例)	〃
議案第 43 号	専決処分の承認について(観音寺市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	〃
議案第 44 号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決
議案第 45 号	観音寺市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	〃
議案第 46 号	観音寺市公園条例の一部改正について	〃
議案第 47 号	市道路線の認定及び変更について	〃
議案第 48 号	平成 29 年度観音寺市一般会計補正予算(第 1 号)	〃
議案第 49 号	平成 29 年度観音寺市航路事業特別会計補正予算(第 1 号)	〃
議提議案第 1 号	地方自治法第 180 条第 1 項に基づく観音寺市長専決処分事項の一部改正について	〃

9 月定例会を傍聴してみませんか？

本会議では、市長部局から提案のあった議案の質疑や審議、議員の一般質問など、市民生活に直結した問題が議論されています。ぜひ議場までお越しください。

なお、ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。(☎23-3913)



議会だより
ミライエ

表紙の写真募集



テーマ 観音寺市（四季折々の風景や行事など）

応募資格 市内に在住および勤務の方

応募方法 郵送またはEメールで、写真が写真データ（1人1点）と、住所・氏名・電話番号・作品のタイトル・返却希望の有無を明記の上、議会事務局までお送りください。

締切 平成29年9月29日（金）
議会だより発行は11月になります。

選考方法 応募作品の中から1点を決定し、掲載します。
※採用された作品の使用権は、観音寺市議会広聴広報委員会に帰属します。
また、使用に当たり加工させていただく場合がありますので、ご了承ください。

応募先 〒768-8601 観音寺市坂本町一丁目1番1号
観音寺市議会事務局 宛
電話 （0875）23-3913
E-mail gikai@city.kanonji.lg.jp
くわしくは、ホームページをご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしています。



視察に来てくれました

- ◆静岡県裾野市議会
「病児・病後児保育について」
- ◆愛媛県四国中央市議会
「議場システムについて」
- ◆北海道真狩村議会
「議会の活性化の取り組みについて」

26日	20日	19日	15日	11 ～ 14日	7 ～ 8日	1日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	決算審査	本会議（一般質問）	本会議

9月定例会の予定

暑い季節になりました。委員会は全員で力を合わせ、熱心な議論が行われた六月議会を編集いたしました。議会だよりを手にはケーブルテレビやインターネット中継を通じて、議会の様子を見ていただきたいと思います。答弁は市長をはじめ、各部長が詳しく述べています。市の方向性が見えてくると思います。出来れば、議会傍聴にも来ていただきますように。

編集
後記

広聴広報委員会

委員長 安藤 忠明
副委員長 大矢 一夫

藤田 均
五味 伸亮
友枝 俊陽
立石 隆男
詫間 茂